

愛媛県における 『行革甲子園』の取組について ～先進事例の横展開による行革推進～

愛媛県 総務部 総務管理局
局長 福井 琴樹



[はじめに①]

愛媛県における県・市町連携の推進

背景

地方分権の進展

厳しい財政状況

市町村合併の進展

業務の効率化や行政コストの縮減を図る → **組織の垣根を越えた連携が必要**

平成22年度 **県・市町連携推進本部 設置**

(構成: 知事、全20市町長)

連携施策の創出・実行

(H23以降毎年度「連携推進プラン」を作成)



126項目に及ぶ連携施策を創出

2
(H28プランまで)

[はじめに②]

愛媛県における県・市町連携の成果

主な成果

① 税務職員の相互併任

個人住民税の滞納繰越額が約4億1千万円削減 (H28.3末)

② 「愛媛サイクリングの日」
関連イベントの実施

・全市町でイベント一斉実施
・情報発信、交流人口増加

③ 愛南町と県の合同庁舎化

・建設費・維持管理費縮減
・災害時の迅速対応



愛南町新庁舎

- ・H28.5 町の業務スタート
- ・H28.8 県出先機関移転予定

さらに、効果として

連携の“意識”が醸成

日頃の業務や、新規施策を検討する際に、他の市町との
連携の意識が定着 (ほぼ全ての市町が「連携の意識が強まった」と回答)

本県独自の強みに！

「行革甲子園」開催の経緯

県と市町の強固な連携関係を生かした行革の推進 ⇒ 「行革甲子園」

きっかけ

➤ 知事の発案

「行政改革に終わりなし」の姿勢（H22.12 中村時広知事就任）

狙い

➤ 行革は未来志向の取組であることを共有！

「削る」「切る」などの後ろ向きのイメージだが、明日への力を得るための手段という位置付けにすれば、極めて前向きな取組

➤ 「チーム愛媛」で高め合う！

情報を共有しお互いが刺激し合い、自らも取り入れる

これまで2回にわたり「行革甲子園」を開催

「行革甲子園」開催実績①

第1回 行革甲子園

日時	平成24年10月10日(水)
場所	県男女参画共同センター(松山市)
参加	300名(知事、県内市町長、自治体職員他)
応募	県内全20市町から64事例
概要	書類審査で選考された6事例を発表・審査(学識経験者、知事・市町長により審査)



知事・市町長による意見交換(第1回)

- 発表事例
- ①産官学のパートナーシップによる地域づくり(愛南町)
 - ②Facebookページ「八幡浜市みかん課」(八幡浜市)
 - ③自治会制度による住民自治のまちづくり(内子町)
 - ④未来せいよ創造プランプロジェクトの実現(西予市) ※えひめ行革大賞受賞
 - ⑤協働のまちづくりの推進(四国中央市)
 - ⑥市民とつくる地域消防防災力(松山市)
- 【県外先進事例の参考発表】大野城市の行政改革(福岡県大野城市)
- 【県発表】愛媛県の行政評価システム

えひめ行革大賞 西予市／若手職員行革チームが全事務事業1,470事業について徹底的に見直しを行い、399事業について総額約6億円の削減に向けた改革・改善案を策定した。

その他 全国知事会から優秀政策として表彰(H25)

「行革甲子園」開催実績②

第2回 行革甲子園2014

日時	平成26年8月25日(月)
場所	松山市総合コミュニティセンター(松山市)
参加	350名(知事、県内市町長、自治体職員他)
応募	県内全20市町から46事例
概要	書類審査で選考された6事例を発表・審査(学識経験者、知事・市町長等により審査)
発表事例	①松前町地域ブランディング事業 (松前町)
	②「スマイル松山」プロジェクト (松山市)
	③「公の施設等評価及びあり方方針」の策定 (今治市) ※えひめ行革大賞受賞
	④スマイルアップで創ろう 最上のまち西条を (西条市)
	⑤学校給食における地産地消の推進 (大洲市)
	⑥「八幡浜みなと」民設民営手法の一部導入による道の駅・みなとオアシスの整備運営 (八幡浜市)
	【四国3県の参考発表】 サテライトオフィス誘致(徳島県三好市)、「行政改革」と「まちづくり推進隊」(香川県三豊市)、ASP共同利用型住民情報システムについて(高知県中西部電算協議会)
えひめ行革大賞	今治市／広域合併に伴い、800を超える公の施設を保有する現状を改善すべく、職員プロジェクトチームにおいて、独自の「公の施設等評価システム」を構築し、施設評価及びあり方方針を策定した。 当該評価システムを活用して、評価対象施設の1／4を廃止決定(111施設)した。 ⁶

「行革甲子園」の成果

発表事例

【西予市】
若手職員行革チームの設置
(第1回大賞受賞)

【今治市】
公の施設の評価・あり方方針の策定
(第2回大賞受賞)

【西条市】
接遇力向上に向けた取組
(第2回発表事例)

波及事例

【東温市】
部局横断的な若手職員グループを
設置し施策提案を実施

【宇和島市・八幡浜市】
公共施設の管理運営方法の検討
にあたって参考に

【伊予市】
職員の接遇マニュアル策定

発表事例を参考に、類似の取組を実施した例が多数！

『チーム愛媛』で刺激し合い、
愛媛全体の行政力の底上げへ

[参考] その他「チーム愛媛」で高め合う取組 先進事例研究会の開催

- 市町が知恵と工夫を凝らして実施している特色ある先進事例を共有・研究。
- 行革甲子園を実施しない年度に開催。
- タイムリーな課題への対策事例を発表し、知事・全市町長で意見交換。審査・表彰はしない。
- これまでに、全20市町が事例発表済み。(行革甲子園又は先進事例研究会にて)

平成25年度(第1回)

- ◇日時 H25.10.29(火)
- ◇場所 今治市民会館
- ◇参加 150名(知事、全20市町長他)
- ◇概要 3市町が特色ある先進事例を発表



平成27年度(第2回)

- ◇日時 H27.8.10(月)
- ◇場所 県水産会館(松山市)
- ◇参加 150名(知事、全20市町長他)
- ◇概要 8市町が人口問題対策に係る先進事例を発表



[平成28年度の取組]

「行革甲子園2016」(全国版)の開催

- 全国の市区町村から行革の先進的・独創的事例を募集し、発表・表彰する「行革甲子園2016」を愛媛県で開催。(H28.11.1(火))
- 県内・全国の市区町村が全国の優良事例のノウハウを得ることで、地方行革のより一層の推進を図る。
- 目的は賞を競うことではなく、自治体間で多くの事例を共有し、自らの取組に活用することが狙い。いわば、地方の、地方による、地方のための取組。

背景

- ・これまで県内市町対象に2回開催し、**優良事例の波及効果有**
- ・厳しい地方財政の下、行政サービスを維持するためには**一層の行革の取組が不可欠**

⇒そこで、行革甲子園(全国版)を開催することにより、県内をはじめ全国の**市区町村の一層の行革推進を支援**

スケジュール(H28)

- 6/10～8/5 事例募集
- 8～9中旬 書類審査・発表団体決定
- 11/1 **事例発表・表彰式イベント**
- 11～ HP掲載、事例集作成・配付

事業概要

(1)対象 全国の市区町村が取り組んだ先進的、独創的な行革事例(効率化、新しい手法導入事例等)

(2)イベント概要

- ①講演:岡田武史(日本サッカー協会副会長)「勝つための組織づくりとサッカーによる地域振興」(仮)
- ②発表:書類審査を通過した8団体程度(1団体10分程度プレゼン)
- ③審査:審査員5名(審査員長 小西砂千夫(関西学院大学教授))
- ④表彰:グランプリ(1団体)
- ⑤その他:事例発表はネット配信、全応募事例を掲載した事例集を作成し応募団体等に配付、HP掲載

行革 甲子園

事例 募集

～プラスの力を生み出す
政策コンテスト～

創意工夫あふれる取組を発表、表彰する「行革甲子園2016」を開催します。
多くのノウハウを共有し、自らの取組に活用していただくことが目的ですので、
全国から一つでも多くの事例の応募をお待ちしています。

事例応募
だけでもOK

事例共有のみの参加(審査を希望しない)もOKです。
応募のあったすべての取組を掲載した事例集を作成し、
応募団体をはじめ多くの関係機関で共有したいと考えておりますので、
先進性や効果の大小に捉われず、応募いただきますようお願いいたします。

平成28年
～8月5日(金)

- 日時・場所 平成28年11月1日(火) 12:30～17:00
ひめぎんホール 真珠の間(愛媛県松山市道後町2丁目5-1)
- 基調講演 講師 岡田 武史氏
元今治、夢スポーツ代表取締役(公財)日本サッカー協会 副会長
「勝つための組織づくりとサッカーによる地域振興」(仮)
- プレゼンテーション ○審査、表彰式
8団体(1団体10分程度)



愛媛県 総務部 市町振興課 〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2
電話 089-912-2216(直通)/FAX 089-912-2209/Eメール shichoshinko@pref.ehime.jp

●主催/愛媛県 ●後援/全国知事会

協賛:愛媛県立三島高等学校 書道部

「行革甲子園2016」 事例募集チラシ

※全国の市区町村に送付済み

審査を希望しない案件(事例応募のみ)もOKとし、先進性や効果の大小に捉われずより多くの、多様な事例を収集

詳しくは、

行革甲子園

検索



ダークみきやん



みきやん

チーム愛媛

ご清聴ありがとうございました